

令和 7 年度

枚方市施策評価報告書

(総合計画及び総合戦略の進捗管理)

令和 7 年 8 月

枚方市

目 次

1. 施策評価制度の概要	1
(1) 施策評価の目的	1
(2) 評価の流れ	1
(3) 評価手法	3
(4) 評価結果の活用	4
 2. 令和7年度 施策評価	 4
(1) 市民満足度の推移	4
(2) 内部評価と外部評価の概要	4
(3) 次年度に向けて	9
 3. 総合戦略	 10
(1) 総合戦略の概要	10
(2) 評価方法	10
(3) 評価結果	12
 【参考】	
・ 令和7年度 枚方市施策評価員名簿	14
・ 総合戦略KPI（重要業績評価指標）一覧	15

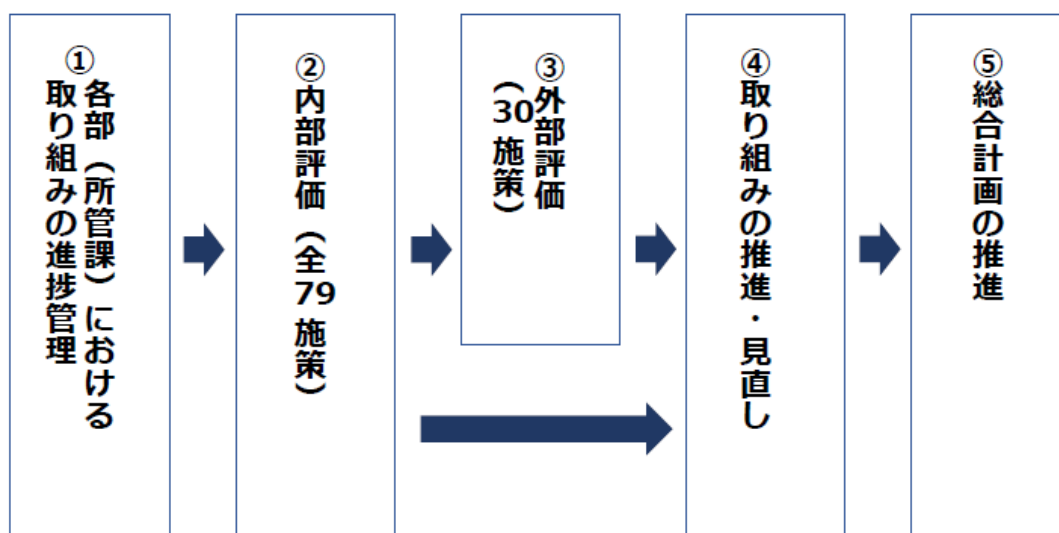
1. 施策評価制度の概要

(1) 施策評価の目的

本市では、第5次枚方市総合計画基本計画（以下、「基本計画」という。）を推進するため、基本計画に掲げる重点施策などを踏まえながら、4年間で実施していく具体的な実現計画として、実行計画を策定しています。令和6年度から令和9年度を計画期間とする第3期実行計画では、市民満足度を向上させ、第5次総合計画のめざすまちの姿を実現させるため、施策ごとにめざす姿を設定し、各施策に位置付ける取り組みを推進しています。

そうした中で、施策評価は、実行計画の進捗を把握・評価することにより、PDCAサイクルの一環である Check の役割を果たすことを目的として実施しており、施策評価の実施にあたっては、評価のプロセスを公表し、市民への説明責任を果たすとともに、市民と学識経験者からなる枚方市施策評価員（以下、「評価員」という。）による外部評価も取り入れることで、市政運営の透明性の確保と市政への市民の関心を高め、あわせて評価結果を次年度以降の施策等へ反映していくことで、施策の最適化にもつなげていくことをめざします。

(2) 評価の流れ



第3期実行計画の施策評価は、市において実行計画等の取り組みの進捗管理を行う「内部評価」と、評価員による「外部評価」の両方により、毎年度評価を行います。

「内部評価」では、具体的な取り組みの年次進捗状況や取り組みに設定された成果指標の達成度合い、市民満足度で把握する主観的指標等を活用し、全79施策に対して検証・評価を行い、今後の方向性を作成します。

「外部評価」は、第3期実行計画のめざす市民満足度の向上の観点より、施策の市民満足度を測定する主観的指標の数値からさらなる取り組みの推進が必要と考えられる施策を基本に、評価員の意見も踏まえつつ評価対象となる施策を選定したうえで、評価員の持つ知見や市民感覚などに基づいた評価を行います。

【令和7年度外部評価対象施策（30 施策）】

施策シート番号	施策名称
01_01	防災体制の強化
01_02	防災意識の向上
01_03	都市基盤の計画的な維持管理
02_01	災害情報の迅速かつ正確な提供
03_02	消費者被害へ意識啓発・相談体制の充実
04_04	快適な歩行空間の整備
05_01	公共交通機関の利用促進
05_02	空き家・空き地等の適正管理及び活用促進
05_03	公共交通を軸とした都市機能の集約化
09_02	介護予防の推進
10_01	社会参加の促進に向けた福祉サービスの充実
10_02	障害への理解促進、地域との交流の場の提供
11_01	人権教育・啓発の推進
12_01	女性活躍の推進
15_04	子どもや若者が社会生活を円滑に営める環境づくり
16_03	高い指導力と意欲を持つ教職員の育成
18_01	枚方市駅周辺の再整備
19_01	歴史文化遺産の活用と情報発信の充実
19_02	観光施策の推進
19_03	若者の交流機会の創出
19_04	国際化施策の推進
20_01	雇用対策の充実
21_01	市内産業の活性化
21_02	創業（起業）できる環境づくりの充実
22_01	農業の担い手の育成、就農促進
26_03	安全で良質な水を将来にわたって安定的に供給
27_01	ゼロカーボンシティの推進
29_02	DX の推進
30_01	市民などによるまちづくり活動の活性化
31_01	行財政改革の推進

(3) 評価手法

第3期実行計画の具体的な取り組みに係る進捗状況と施策指標の達成度合いから評価を実施しています。(詳細は評価様式の「評価様式の見方」参照)

【具体的な取り組みの進捗状況】

第3期実行計画に位置付けたそれぞれの具体的な取り組みについて、年次的な取り組みの目標の達成度合いについて、◎、○、△、×の4段階で評価を行っています。

それぞれの達成状況は以下のとおりです。

◎：達成 ○：一部未達成、達成に向け進行中 △：課題や遅れあり ×：多くが未着手

【施策指標の達成度合い】

施策指標については、28の施策目標及び4つの計画推進ごとに、市民の評価により進捗を測る「主観的指標」と客観的な数値により進捗を測る「客観的指標」を設定し、達成度を測定しています。また、主観的指標については、「属性等による分析」と「マトリクス分析」により分析を行っています。

施策指標	主観的指標	●目標に向けた取り組みの成果を、市民がどのように感じているか把握する指標(各施策に対する「重要度」「満足度」を4年毎に実施する市民意識調査により把握する。ただし、「満足度」は毎年度調査する。)(結果については評価様式を参照。) ※指標例：「防災体制が整っていると感じている市民の割合」、「防犯体制が整い、身近な安全が確保されていると感じている市民の割合」など (市民の割合とは、市民意識調査の6つの回答区分[感じている、やや感じている、どちらともいえない、あまり感じていない、感じていない、わからない]のうち、「感じている」、「やや感じている」の回答率)
	客観的指標	●目標に向けた取り組みの成果を、客観的な数値により定量的に把握する指標(毎年度、実績数値を把握する。)(結果については評価様式を参照。) ※指標例：「重要物資備蓄目標達成率」、「自主防災組織が年1回以上の訓練を実施した割合」など

※施策指標については、社会状況の変化などを踏まえ、必要に応じてより適切な指標への改善を図ります。

①属性等による分析

市民意識調査の回答者の年齢、家族構成、生きがいの有無などと、それぞれの施策の満足度である主観的指標のクロス分析を実施しています。(分析結果の詳細については評価様式の見方を参照。)

②マトリクス分析

施策満足度に紐づくそれぞれの施策ごとの具体的な取り組みに対する、市民の取組満足度と関心・期待度・ニーズを視覚的に表しています。今後の施策の方向性の参考としています。(分析結果の詳細については評価様式の見方を参照。)

○取組満足度(横軸)：市の取り組みに関して満足していると回答した人に対する、選択の決め手となった取り組みとして選択された数により計算。

○関心・期待度・ニーズ(縦軸)：市の取り組みに関して不満があると回答した人に対する、市の取り組みとして足りていないものとして選択された数により計算。

【外部評価】

対象施策において、以下のポイント等を踏まえて評価員による評価を実施しています。

- ①取り組み内容が市民のニーズに合っているか
- ②取り組みの進捗から、一層の推進またはスケジュール及び内容の見直しが必要ではないか。
- ③指標（目標数値）設定の妥当性
- ④施策の今後の方向性の妥当性

（４）評価結果の活用

評価結果については、次年度以降の施策立案や取り組みの見直し等に活用します。この反映状況については毎年度確認の上、次年度の施策評価において総括を行うこととします。

こうしたPDCAサイクルの運用により、施策の最適化を図り、より効果的な第３期実行計画の取り組みにより市民満足度を向上させ、総合計画の推進につなげていきます。

２．令和７年度 施策評価

（１）市民満足度の推移

令和７年度に実施した市民意識調査では、前年度の結果と比較して多くの施策で市民満足度の向上が見られました。特に、市駅周辺の賑わいや人々の交流に関する施策（＋19.3%）について満足度が大きく向上しており、令和６年９月の「ステーションヒル枚方」のオープンや、ひらかた万博の関連事業として淀川河川敷や枚方宿周辺、ニッペパーク岡東中央等で実施したイベントなどによる効果が表れているものと考えられます。一方で、医療を受けることのできる環境（▲8.2%）や公共交通（▲5.6%）など、市民生活に近い施策に関連する満足度については低下している状況です。

こうしたことを踏まえ、少子高齢化社会が進む中においても、市民生活の質の維持や向上が図れるよう、一層のニーズの把握や、取り組みの見直し等を進めていきます。

（２）内部評価と外部評価の概要【詳細は、各施策の評価様式を参照】

めざす姿	市民満足度	具体的な取り組みの達成	施策指標の達成	主な内部評価（今後の方向性）	外部評価コメント要旨
防災体制が整っている 【施策シート：01_01, 01_02, 01_03, 01_04, 02_01】	34.9%	69.2%	71.4%	・災害発生時の迅速な対応のため、効率的な備蓄品管理の推進や、地域防災力の向上に向けた地域との連携強化 ・リスクに備えた上での道路、橋梁、上下水道について計画に基づいた維持管理と取り組みの推進	・南海トラフ地震に備え、ハード・ソフト両面からの防災対策に期待する。 ・防災意識の醸成や行動変容の促進を意識した施策の編成や取り組みが必要。 ・市民満足度向上のため、若者世代に向けての取り組み及び、市民へ伝わりやすい工夫で、取り組みをPRすべきである。
防犯体制が整い、身近な安全が確保されている 【施策シート：03_01, 03_02】	35.5%	100%	40.0%	・警察や地域等と連携による本市の安全・安心のさらなる推進 ・特殊詐欺や消費者被害に関する相談体制や関連団体との情報共有を強化	・特殊詐欺は、社会的な問題となっている。取り組みの強化が求められる。 ・解決割合のPRにより「まずは相談してみよう！」と思う市民が増えるのではないかな。

めざす姿	市民満足度	具体的な取り組みの達成	施策指標の達成	主な内部評価 (今後の方向性)	外部評価 コメント要旨
安全で快適な道路環境が整っている 【施策シート：04_01, 04_02, 04_03, 04_04, 04_05】	36.2%	68.4%	56.2%	・快適な道路環境の整備と大規模な災害に備えた幹線道路等の整備や道路施設の適正な維持管理に向けた改良 ・交通事故の減少を目指した交通安全啓発及び関係機関との連携や広報媒体による周知強化	・市内で事故が起りやすい地域などに対して、注意喚起を継続して行う必要がある。 ・福祉との連携も入れることで、環境の質及び満足度の向上につながる。 ・市民生活を支える基盤であることを示し、市民の理解を深めていくPRが必要。
公共交通機関が整っているなど都市機能が充実している 【施策シート：05_01, 05_02, 05_03】	48.9%	63.6%	63.6%	・持続可能な交通機能の確保に向けた公共交通の利用促進の周知・啓発と地域の特性・ニーズに応じた移動手段の確保のための支援 ・空き家の利活用支援による空き家の解消	・市民満足度も高いため、引き続き交通機能の確保に努めていただきたい。 ・交通問題を抱える地域や階層に焦点を当てた取り組みが必要。 ・若者世代空き家活用補助制度について目標達成に向けて、周知活動を強化いただきたい。
心身ともに健康に暮らせる環境が整っている 【施策シート：06_01, 06_02, 06_03, 07_01, 07_02】	58.5%	25.0%	68.0%	・各種健診の受診率向上に向けた対象者への効果的な周知や情報提供 ・医療提供体制確保のための医療機関との連携強化	
安心して適切な医療が受けられる環境が整っている 【施策シート：08_01】	54.6%	100%	20.0%	・動向を分析した上での必要な対応	
高齢者が地域でいきいきと暮らせる環境が整っている 【施策シート：09_01, 09_02, 09_03】	38.8%	33.3%	50.0%	・高齢者の社会参加促進に向けた取り組みの推進	・高齢者の生きがいづくりやQOLの向上、まちの活性化、医療費増加への抑制など様々な効果が期待されるため、今後の施策の発展に期待する。 ・土木や都市整備などの環境を取り扱う部門と連携して、外出したくなる環境行動デザインの観点を持つことが望まれる。
障害者が地域でいきいきと暮らせる環境が整っている 【施策シート：10_01, 10_02】	23.3%	33.3%	36.4%	・障害者の社会参加の促進に向け、支援のあり方や制度のさらなる周知	・周知活動に力を入れるとともに、的確なニーズ把握の上、必要としている方に必要な取り組みが提供できるよう取り組みを期待する。 ・障害者スポーツも注目されていることから引き続きスポーツ講習会等の実施を期待する。

めざす姿	市民満足度	具体的な取り組みの達成	施策指標の達成	主な内部評価 (今後の方向性)	外部評価 コメント要旨
一人ひとりが人権を尊重し合っている 【施策シート：11_01, 11_02, 11_03】	31.0%	77.8%	58.3%	・お互いの違いに気づき、認め合えるよう人権教育、啓発の推進 ・人権侵害に対する関係機関との連携	・人権啓発の手法として、イベントの実施が適切なのか検討すべきではないか。 ・アウトリーチや参加型プログラム等、様々な人権教育の機会を試みることで、成果型の指標や目標が立てやすくなる。 ・関心が低い市民に対して、その意識醸成・啓発を図ることに注力すべき。
男女共同参画社会が実現している 【施策シート：12_01】	26.4%	40.0%	42.9%	・女性の職業生活などにおける活躍の推進と男女ともに満足度の高いワーク・ライフ・バランスの推進	・市民の意欲を後押しできる環境づくりやシステム構築に寄与できることを期待する。 ・公的機関が率先して、女性の社会進出・活躍推進・男性育休率を高めていくことで民間企業も追随する。
平和の大切さが継承されている 【施策シート：13_01】	52.6%	100%	100%	・さまざまな平和啓発事業における周知・啓発	
安心して妊娠・出産できる環境が整っている 【施策シート：14_01】	41.2%	50.0%	42.9%	・子育て世代のニーズを把握しながらの取り組みの推進	
安心して子育てできる環境が整っている 【施策シート：15_01, 15_02, 15_03, 15_04】	48.4%	82.9%	56.3%	・子育て世帯のニーズ把握や実績の検証を踏まえたサービスの利便性向上 ・児童虐待への早期対応に向けたさらなる体制の強化	・子ども食堂では、「子どもの居場所」という観点から、他の事業と組み合わせ、学生ボランティアとも協力しながら取り組みを模索している地区もある。 ・深刻な状況への早期発見や速やかな対応は不可欠であり、そのために地域や関係者との連携も一層求められる。 ・支援策や制度、対応する組織などの相互間連携、つながりの構築などが市民満足度を上げる重要な要素である。さらなる連携協力を期待する。
子どもたちへの教育環境が充実している 【施策シート：16_01】	37.4%	100%	66.7%	・小・中学校の円滑な接続を図るため、子どもたちが主体的かつ能動的に学ぶ機会の充実や教員の授業力向上に向けた取り組みの推進	

めざす姿	市民満足度	具体的な取り組みの達成	施策指標の達成	主な内部評価 (今後の方向性)	外部評価 コメント要旨
子どもが安全な学習環境で学校生活を過ごしている 【施策シート：16_02, 16_03, 16_04, 16_05, 16_06, 16_07, 16_08, 16_09】	43.4%	67.9%	50.0%	・子どもたちの主体的で能動的な学びの機会の充実 ・教育の質の維持・向上を図るため、地域や民間活力を活用した取り組みの推進 ・いじめの未然防止、早期発見に向けた関係機関との連携	・教職員の負荷の軽減は進んでいる。一方で教職員の働きがいややりがいを削ぐことにならないように留意することが必要。 ・教職員の声を反映した育成プログラムや研修企画を期待する。 ・教員の働き方や授業方法への関心を高めるための市民や保護者への丁寧な説明が必要。
生きがいを持って学び続けられる環境が整っている 【施策シート：17_01】	35.7%	50.0%	66.7%	・生涯学習の機会の提供や情報発信	
文化芸術に親しめる環境が整っている 【施策シート：17_02, 17_03】	61.9%	66.7%	50.0%	・利用者ニーズを踏まえたサービスの実施と効果的な情報発信 ・関係機関と連携した魅力的な文化事業の実施	
気軽にスポーツ活動ができる環境が整っている 【施策シート：17_04】	41.9%	72.7%	80.0%	・スポーツ機会の提供とスポーツに対し関心が持てるような支援	
枚方市駅周辺が賑わい、魅力あふれる中心市街地である 【施策シート：18_01, 18_02】	59.2%	37.5%	50.0%	・関係機関と連携した中心市街地の賑わい創出や防災性の向上	・市駅周辺の再開発により市民満足度の向上につながっていると評価できる。 ・市への愛着や定着への低下を防ぐため市民の声も取り入れながら、変化し続ける枚方市（駅）であることに期待する。
市の観光資源が生かされ、人々の交流が盛んに行われている 【施策シート：19_01, 19_02, 19_03, 19_04】	30.3%	74.1%	56.5%	・課題を検証した上での各取り組みにおけるターゲット層のニーズに合った取り組みの推進とPRの強化	・各課が独自に施策を展開するのではなく、各施策に観光や広報部局が関与し、市として一体的に観光施策が展開できるよう推進を期待する。 ・大学との協働関係を活かすためには、多面的な交流連携の充実が必要。
市内での産業活動が活発に行われている 【施策シート：20_01, 21_01, 21_02】	24.3%	64.3%	90.9%	・当事者や事業者の状況・ニーズを踏まえて、関係機関との連携や民間活力を生かした支援の充実	・ニーズに基づき、産業支援機関や金融機関等の関係機関が連携した柔軟な支援が必要。 ・就労者と事業者の雇用条件をマッチングすることができる総合的な雇用対策に転換することが重要である。

めざす姿	市民満足度	具体的な取り組みの達成	施策指標の達成	主な内部評価 (今後の方向性)	外部評価 コメント要旨
農地が保全されるなど、「農」を守り、生かされている 【施策シート：22_01】	19.0%	100%	66.7%	・若い世代をはじめ幅広い世代に対する新規就農者を含めた次世代の農業を担う者の育成・確保	・新規就農者などの農業者の育成において、初期投資額・収益性・継続性を鑑みて、支援を行うことを期待する。 ・都市農業において、DXや農作物の高付加価値化など、従来の農業からの脱却が必要。
里山や農地などの豊かな自然環境が保全されている 【施策シート：23_01】	38.3%	100%	66.7%	・全ての世代に対してPRと取り組みへの参加促進	
普段の生活の中でみどりとふれあえる 【施策シート：24_01, 24_02】	61.7%	100%	100%	・子ども子育て世帯等の自然とふれあい親しめる場の確保のためのニーズ調査と工事実施	
ごみ減量や資源循環が進んでいる 【施策シート：25_01】	40.9%	60.0%	57.1%	・ごみ発生を抑制するための4Rの推進と循環型社会の形成に向けた事業者と市民へごみの発生抑制への意識醸成	
安全で良好な生活環境が確保されている 【施策シート：26_01, 26_02, 26_03, 26_04】	47.2%	50.0%	75%	・良好な生活環境の確保に向けた産業廃棄物などの発生抑制や適性処理の推進 ・安全で良質な水の安定的な供給	・予算・労力面から効率よく更新するため、DXを推進させながら不安なく市民が生活できるよう取り組みを期待する。 ・水道事業の経営や維持管理について市民に丁寧に説明することで、水道事業への理解が深まり、満足度の向上につながるのではないかな。
地球温暖化の取り組みが進んでいる 【施策シート：27_01】	18.4%	100%	0%	・市民の地球温暖化対策への意識の醸成に向けた取り組み内容のPR	・設備投資額とその効果を検証しながら、環境負荷軽減への取り組みを推進していただきたい。 ・環境を守る重要性を市民と共有できる取り組みの実現を期待する。
まちの美化が進んでいる 【施策シート：28_01】	40.5%	50.0%	33.3%	・歴史的景観の保全推進のための各取り組みの積極的なPRによる地域特性に応じた魅力あふれる景観づくり	
行政からの情報発信が充実している 【施策シート：29_01】	47.4%	60.0%	83.3%	・SNS等の活用や関係機関を通じた働きかけ・イベント等のPRなど市民の生活や行動に即した情報の提供による枚方への関心の高まりと定住の促進	

めざす姿	市民満足度	具体的な取り組みの達成	施策指標の達成	主な内部評価 (今後の方向性)	外部評価 コメント要旨
行政に対し意見を言う場が確保されている 【施策シート：29_02】	24.2%	66.7%	50.0%	・市民ニーズの複雑化に伴う自治体業務の拡大の対応に向け、スマート自治体実現の一層の推進と業務時間の削減及び利用者の利便性向上に向けた取り組みの推進	・DX推進により業務効率を高めていただきたい。 ・AIの活用について、さらに研究を進め実用化していく必要がある。 ・市民にとっても「手続きが便利になった」という実感が、市民満足度の前年度よりも数値が高くなったことに表れている。
市民によるまちづくり活動が活発である 【施策シート：30_01】	28.5%	100%	20.0%	・今後の地域活動の担い手である若者世代への働きかけと市民活動に興味関心を持つ市民に対して、参加のきっかけづくりを推進	・市民活動の新たな担い手による新しい活動領域や手法を探索する必要がある。 ・市民が自主的・積極的に市民活動へ参画していくような情報発信を期待する。
持続可能な行財政運営を進めます 【施策シート：31_01, 31_02, 31_03, 31_04, 31_05, 31_06】		60%	45.0%	・健全な財政運営を行うための行財政改革の徹底と、さらなる財源確保の推進	・人口減少社会において、税収が減少することが予測される中で、適切な行政サービスを維持するための新たな財源確保の取り組みが必要。 ・より効果的な改革に向けて、本来のPDCAを回す発想を再確認する必要がある。
自治体間の広域連携や地方分権の推進を図ります 【施策シート：32_01】		100%	100%	・周辺自治体との連携・協力による効率的・効果的な行政サービスの提供	
全体		66.7%	57.5%		

具体的な取り組みの達成：各施策シートに紐づく具体的な取り組みの中で令和6年度の実績が「◎」の取り組みの割合
 施策指標の達成：各施策シートに紐づく客観的指標の中で、令和6年度の実績が、目標値を上回った指標の割合

(3) 次年度に向けて

より一層の市民満足度の把握に向けて、満足度と施策における取り組みの関係性の把握手法などを検討し、市民意識調査の項目の改善を図ります。また、今回から新たに取り入れたマトリクス分析については、専門家等の意見も取り入れながら、より実態を反映できる内容となるように、さらなる研究を進めます。

外部評価員からは、市の内部評価が指標や施策の進捗把握に留まるだけでは、新たな進展へつながらない、施策評価結果を踏まえた改善を検討、実施することが重要であるといった意見がありました。

また、取り組み内容については、啓発的な取り組みといった市からの一方的な取り組みについては、目標達成できていないところをどのように修正していくか考えた上で、実際に効果のある方法に組み替えることを検討するべきであるといった意見がありました。

客観的指標の設定については、数値化しやすい指標が設定される傾向にあり、課題抽出の上、さまざまな角度の検討が必要ではないか。事業単体の指標だけでなく、部署間や事業間連携での指標の検討ができないか。また、相談件数など増加した方が望ましいのか、減少した方が望ましいのか議論すべきものもあるといった意見がありました。今後、意見を踏まえた上で、取り組み内容及びより適切な指標設定の見直しについても検討を進めます。

3. 総合戦略

(1) 総合戦略の概要

少子高齢化の進展への対応や、東京圏への人口集中の是正のため、国は、まち・ひと・しごと創生法（平成 26 年法律第 136 号）を制定し、平成 26 年 12 月 27 日に「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」及び「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、取り組みを進めました。令和元年 12 月 20 日には、令和 2 年度から令和 6 年度までを計画期間とする「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン（令和元年改訂版）」及び第 2 期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」をそれぞれ閣議決定しました。

まち・ひと・しごと創生法第 10 条では、市町村においても、国や都道府県の総合戦略を勘案し、地域の実情に応じたまち・ひと・しごと創生の基本的な計画を定める努力義務が明記されています。

本市においては、人口減少への対応を図るため、本市の人口の現状や将来展望を示した「人口ビジョン」と、ビジョンで示す将来展望を踏まえ、平成 27 年度から平成 31 年度（令和元年度）までの 5 年間で集中的に行っていく施策をまとめた「枚方市まち・ひと・しごと創生総合戦略」と令和 2 年度から令和 5 年度までの第 2 期「枚方市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し推進をしてきました。

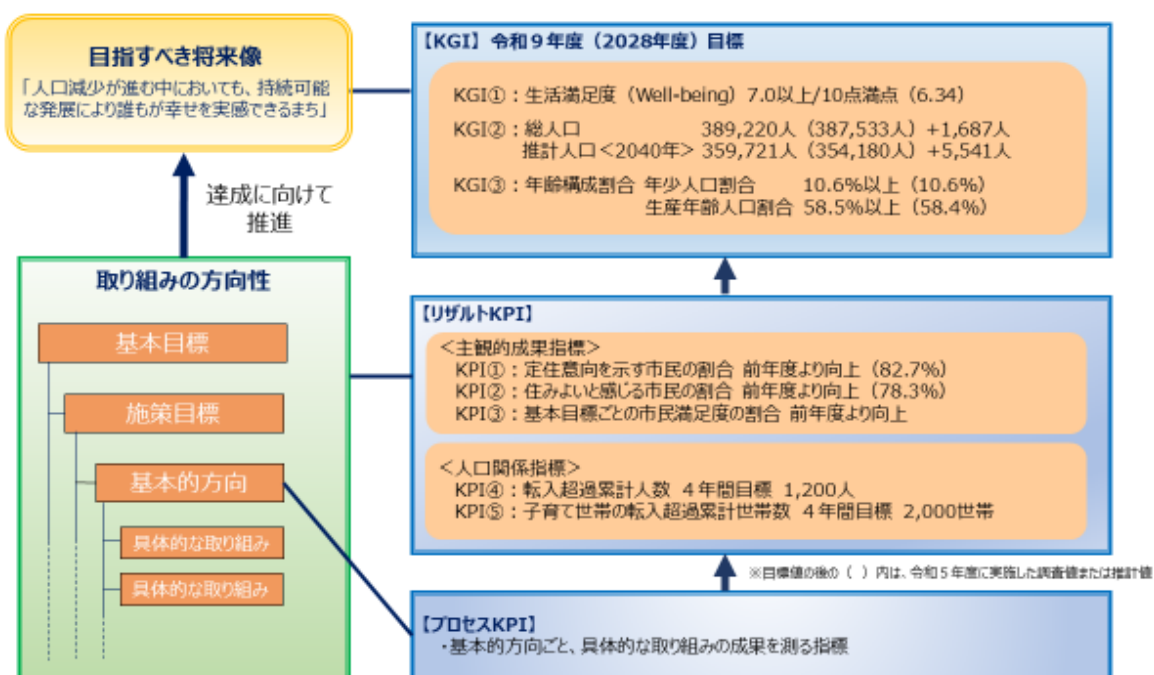
その後、令和 6 年 3 月に、令和 6 年度（2024 年度）を始期とする第 3 期の「枚方市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、引き続き取り組みを進めています。

総合戦略では、めざすべき将来像への進捗状況を測るため、3 つの重要目標達成指標（KGI）を設定するとともに、本市の実情に応じた 4 か年（令和 6 年度～令和 9 年度）の基本目標や施策の基本的な方向、具体的な施策、重要業績評価指標（KPI）を提示しています。

(2) 評価方法

総合戦略に掲げた施策を着実に実施し、基本目標を達成していくために、毎年度、重要目標達成指標（KGI）及び重要業績評価指標（KPI）の達成度等を検証しながら進捗管理を行います。進捗管理にあたっては、客観性を確保するために、評価員による意見を聞きながら評価を行います。

評価は、総合戦略が掲げるめざすべき将来像への進捗状況を測るため設定した 3 つの重要目標達成指標（KGI）と、2 種類の重要業績評価指標（具体的な取り組みによるアウトプットとしての成果であるプロセス KPI と具体的な取り組みの成果が将来像の達成につながるまでの中間的な KPI）の測定結果等により行います。



総合戦略の3つの基本目標

基本目標 1

安心して子どもを産み育てることができ、子どもの健やかな成長と学びを支える

施策目標

1. 安心して妊娠・出産できる環境が整うまち
2. 子どもたちが健やかに育つことができるまち
3. 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち

基本目標 2

市民の健康増進や地域医療の充実を図る

施策目標

1. 高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち
2. 誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち
3. 健康危機管理が充実したまち
4. 安心して適切な医療が受けられるまち

基本目標 3

産業の活性化と人々の交流・賑わいの創出によりまちの魅力を高める

施策目標

1. 地域産業が活発に展開されるまち
2. いきいきと働くことのできるまち
3. 安全で快適な交通環境が整うまち
4. 快適で暮らしやすい環境を備えたまち
5. 人々が集い賑わい、魅力あふれる中心市街地のあるまち
6. 地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち

(3) 評価結果

①重要目標達成指標（K G I）について

目指すべき将来像への進捗状況を測るため、3つの重要目標達成指標（KGI）を設定しています。

●生活満足度（Well-being）＜市民意識調査により測定＞

策定時（R5 実績）	R6 目標値	R6 実績値	R9 目標値
6.34／10 点	6.51／10 点	6.83／10 点	7.0 以上／10 点

生活満足度については、策定時から増加し、目標値よりも 0.32 点高く、目標値を達成しています。

●総人口＜各年 5 月 1 日時点＞

策定時（R5 実績）	R6 目標値	R6 実績値	R9 目標値
395,460 人	393,900 人	393,435 人	389,220 人

総人口については、策定時から減少し、目標値よりも 565 人下回りました。

●年齢構成割合

	策定時 (R5 実績)	R6 目標値	R6 実績値	R9 目標値
年少人口割合	12.0%	11.7%	11.8%	10.6%以上
生産年齢人口割合	59.2%	59.0%	59.2%	58.5%以上

年齢構成割合について、年少人口割合は策定時から減少したものの目標値を上回りました。また、生産年齢人口割合については、策定時の値を維持し、目標値を達成しています。

②重要業績評価指標（K P I）について

■中間的なK P I 【リザルトK P I】

中間的なK P I はリザルトK P I とし、リザルトK P I は、基本目標に紐づく取り組みを総合的に推進することで、目標達成を目指します。

●主観的成果指標

	策定時 (R5 実績)	R6 目標値	R6 実績値	R9 目標値
定住意向を示す市民の割合	87.7%	前年度より向上	87.8%	前年度より向上
住みよいと感じる市民の割合	78.3%	前年度より向上	82.2%	前年度より向上
基本目標ごとの市民満足度の割合	P15 の総合戦略K P I （重要業績評価指標）一覧参照			

本市への定住意向や住みよさの向上を測るための政策指標については、策定時の値より上回り、目標値を達成しています。

●人口関係指標

	策定時 (R5 実績)	R6 目標値	R6 実績値	R9 目標値
転入超過累計人数	464 人 ※R2-R5 の累計	300 人	459 人	1,200 人
子育て世帯の転入超過累計数	1,277 世帯 ※R2-R5 の累計	500 世帯	368 世帯	2,000 世帯

転入超過累計人数は目標値を達成しましたが、子育て世帯の転入超過累計数は目標値を下回りました。

■具体的な取り組みの成果を測るK P I【プロセスK P I】

施策目標に紐づく基本的方向ごとの具体的な取り組みの達成状況について、指標及び目標を設定しています。各指標における目標値及び実績については、P15 からの「総合戦略K P I（重要業績評価指標）一覧」を参照してください。

④評価のまとめ

リザルトK P Iのうち、主観的成果指標である「定住意向を示す市民の割合」と「住みよいと感じる市民の割合」及び主観的成果指標については、いずれも前年度数値を上回り、目標値を達成しています。一方で、人口関係指標のうち、「転入超過累計人数」は目標達成したものの、「子育て世帯の転入超過累計数」については、目標を下回る結果となりました。

K G Iについては、「生活満足度」と「年齢構成割合」は目標を上回りましたが、「総人口」は目標達成ができませんでした。プロセスK P Iのうち、未達成の指標については、達成に向けて取り組みを進めることで、子育て世帯の転入超過につなげ、総人口の目標達成をしていくとします。

【参考】令和7年度 枚方市施策評価員名簿

- 【設置根拠】 枚方市施策評価員設置要綱
- 【担当事務】 施策評価を行うこと。
施策評価の手法に関する調査を行うこと。
- 【定数及び任期】 評価員の定数は、7人以内とする。
評価員の委嘱期間は、1年以内とする。ただし、再度の委嘱を妨げない。

氏 名	所 属	選出区分	専門分野
新川 達郎	同志社大学 名誉教授	学識経験者	行政・地方自治 公共政策
橋本 有理子	京都女子大学心理共生学部心理共生学科 教授	学識経験者	福祉
中島 要	北大阪商工会議所 中小企業相談所 所長	各種団体	商工業
松元 広樹	特定非営利活動法人 ひらかた市民活動支援センター 副理事長	各種団体	市民活動団体
井本 由之	樟葉南校区コミュニティ協議会 会長	各種団体	市民活動団体

【評価期間】 7月11日（金）～8月11日（月）

総合戦略 K P I（重要業績評価指標）一覧

基本目標 1 安心して子どもを産み育てることができ、子どもの健やかな成長と学びを支える

主観的成果指標

	策定時の値（R5）	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
安心して妊娠・出産できる環境が整っていると感じている市民の割合	34.7%	41.1%			
安心して子育てできる環境が整っていると感じている市民の割合	39.3%	48.4%			
子どもたちへの教育環境が充実していると感じている市民の割合	36.5%	37.5%			

策定時：郵送 無作為

重要業績評価指標(K P I)

施策目標	基本的方向	重要業績評価指標（KPI）	指標の説明	担当課		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
1. 安心して妊娠・出産できる環境が整うまち	(1) 妊娠・出産を望むすべての人が、安心して子どもを産み育てることができるよう、母と子の心身の健康づくりを進めます。	妊娠11 週以下での妊娠の届出率	妊娠11 週以下での妊娠の届出数／全届出数	まるっとこどもセンター	目標値	96.5%	97.0%	97.0%	97.0%
					実績値	96.3%			
		夫婦そろって早期に不妊検査を受けることにより、適切な医療に繋がった割合	検査後に不妊治療を開始した件数/助成件数	保健予防課	目標値	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%
					実績値	80%			
2. 子どもたちが健やかに育つことができるまち	(1) 子どもの心身の健やかな育ちを支援するため、疾病等の予防、早期発見、早期対応の取り組みを進めます。	この地域で、今後も子育てをしたいと思う親の割合	乳幼児健康診査（4 か月児・1 歳6 か月児・3 歳6 か月児）受診時の保護者に実施するアンケートにおいて「今後も子育てをしたい」と回答した割合	まるっとこどもセンター	目標値	97.0%	97.0%	97.0%	97.0%
					実績値	97.1%			
		(2) 保護者のさまざまなニーズに応じて、子どもが安心して教育・保育を受けられる環境づくりを進めます。	保育所等利用待機児童数	保育所等利用待機児童数調査要領に基づく待機児童数	私立保育幼稚園課、保育幼稚園入園課	目標値	0人	0人	0人
						実績値	0人		
			在園児加点对象者の内定率	在園中の兄弟姉妹がいる保育所（園）を希望した場合の内定率（4月1 次選考）	保育幼稚園入園課	目標値	—	50.0%	50.0%
						実績値	48.15%		
			乳幼児健康診査の受診率	1 歳6 か月児健康診査受診児の人数／全 1 歳6 か月児の人数	まるっとこどもセンター	目標値	97.5%	98.0%	98.0%
						実績値	94.3%		
	(3) 障害児等が健やかに育つことができる環境づくりを進めます。	放課後等デイサービス利用者数	学校通学中の障害児を対象に放課後や長期休暇中に生活力向上の訓練を行う放課後等デイサービスの実利用者数（一月あたり）	障害支援課	目標値	1,290人	1,420人	1,562人	1,718人
					実績値	1,352人			
		児童発達支援利用者数	就学前の障害児を対象に日常生活の基本的な動作や集団生活への適応の訓練を行う児童発達支援の実利用者数（一月あたり）	障害支援課	目標値	390人	468人	561人	673人
					実績値	494人			
	(4) 子育てに対する相談体制の充実を図るとともに、子育て世帯が交流できる場を確保するなど、地域の子育て支援を進めます。	地域子育て支援拠点事業利用者数	子育て世帯が交流できる場を確保する地域の子育て支援拠点事業の利用者数	私立保育幼稚園課	目標値	65,300人	66,300人	71,100人	68,900人
					実績値	63,140人			
		リフレッシュ券利用件数	リフレッシュ券を活用した一時預かりの利用件数	私立保育幼稚園課	目標値	720件	800件	820件	840件
					実績値	784件			
	(5) 子どもの人権擁護の推進を図るため、児童虐待等の問題に対し、発生予防、早期発見、早期対応の取り組みを進めます。	児童虐待に関する相談件数	児童虐待に関する相談件数	まるっとこどもセンター	目標値	40,000件	50,000件	50,000件	50,000件
					実績値	47,843件			
		(6) ひきこもりや若年無業者（ニート）の社会的自立に向けた支援を行うとともに、子どもの貧困対策を推進するなど、子どもや若者が社会生活を円滑に営める環境づくりを進めます。	ひきこもり等に関する相談件数	「ひきこもり等子ども・若者相談支援センター」におけるひきこもり・若年無業者（ニート）等に関する相談件数	まるっとこどもセンター	目標値	3,000件	3,880件	3,960件
						実績値	3,800件		
		支援が必要な子どもの新規支援利用数	支援が必要な子どもや、その世帯に対して、新たに、支援制度や専門機関等に繋がった件数	まるっとこどもセンター	目標値	20件	450件	450件	450件
					実績値	405件			
	(7) 子どもの健やかな成長を支えるため、ひとり親家庭の自立に向けた取り組みを進めます。	ひとり親家庭の自立支援に関する給付金制度利用者数（累計）	ひとり親家庭を対象とした自立支援教育訓練給付金や高等職業訓練促進給付金の利用者数（累計）	まるっとこどもセンター	目標値	130人	140人	150人	160人
					実績値	47人			

重要業績評価指標(K P I)

施策目標	基本的方向	重要業績評価指標（KPI）	指標の説明	担当課		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
3. 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	(1) 義務教育9年間を見通した小中一貫教育を推進するとともに、正確に理解・表現するための言語能力や思考力の育成、国際化に対応した英語によるコミュニケーション能力の育成などにより、子どもの確かな学力の定着を図ります。	国語の平均正答率	学力調査（※）における市内全小中学校の平均正答率（国語）※学力調査＝全国学力・学習状況調査	教育指導課	目標値	全国平均以上 （小：67.7） （中：58.1）	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上
					実績値	小68.0% 中59.0%			
		算数・数学の平均正答率	学力調査（※）における市内全小中学校の平均正答率（算数・数学）	教育指導課	目標値	全国平均 （小63.4） （中52.5） ×1.01 以上	全国平均×1.01 以上	全国平均×1.01 以上	全国平均×1.01 以上
					実績値	小64.0% 中53.0%			
		総合的な学習の時間に、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる割合	学力調査（※）における「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか」に対して肯定的な回答をした割合	教育指導課	目標値	全国平均以上 （小81.3） （中82.2）	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上
					実績値	小81.2% 中86.8%			
		1人1台端末活用率	①【個別最適化学び】学力調査（※）における「自分の特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組む場面では、児童・生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか」に対して肯定的な回答をした割合 ②【協働的な学び】学力調査（※）における「児童・生徒同士がやりとりする場面では、児童・生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか」に対して肯定的な回答をした割合	教育研修課	目標値	全国平均以上 ①47.5 ②43.1	①② 全国平均以上	①② 全国平均以上	①② 全国平均以上
					実績値	①72.4 ②76.6			
		学校の授業時間以外に読書を「10分以上」する児童・生徒の割合	学校の授業時間以外に読書を「10分以上」と回答した児童・生徒の割合 ①全国学力・学習状況調査より把握 ②市教委独自アンケートより把握 （小4～中3対象）	教育指導課	目標値	①全国平均以上 ②前年度より向上 （小58.3） （中53.5）	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上
					実績値	①質問紙なし ②小56.6% 中46.1%			
		体力・運動能力における全国平均を上回る種目数	全国体力・運動能力、運動習慣等調査において全国平均を上回る種目数	教育指導課	目標値	小学校：男子2以上 女子2以上 中学校：男子1以上 女子1以上	前年度実績以上	前年度実績以上	前年度実績以上
					実績値	小学校：男子2 女子1 中学校：男子2 女子1			
	(2) 充実した教職員研修等を通じて、高い指導力と意欲を持つ教職員の育成を図ります。	「授業はわかりやすい」（児童・生徒）の割合	学校教育自己診断における「授業はわかりやすい」と回答した児童・生徒の割合	教職員課	目標値	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%
					実績値	90.8%			
		「意欲的に働き、自分の能力を高めることができた」（教職員）の割合	学校教育自己診断における「意欲的に働き、自分の能力を高めることができた」と回答した教職員の割合	教職員課	目標値	70.0%	72.0%	74.0%	76.0%
					実績値	71.0%			
		1月あたりの時間外勤務時間が45時間以上の教職員の割合	1月あたりの時間外勤務時間が45時間以上の教職員割合	教職員課	目標値	24.0%	20.0%	18.0%	16.0%
					実績値	21.9%			
		休日に教職員なしで成立している部活動及び地域クラブ活動の数	休日に教職員ではなく、地域人材が指導することによって成り立っている部活動及び地域クラブ活動の数	教育指導課	目標値	7クラブ	20クラブ	50クラブ	70クラブ
					実績値	8クラブ			

重要業績評価指標(KPI)

施策目標	基本的方向	重要業績評価指標（KPI）	指標の説明	担当課		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
3. 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	（3）学校・家庭・地域が連携しながら、子どもの社会性や思いやりの心など、豊かな人間性を育むとともに、健やかな身体を育成する取り組みを進めます。	自分にはよいところがあると回答した児童・生徒の割合	全国学力学習状況調査における「自分にはよいところがある」と回答した児童・生徒の割合	教育指導課	目標値	全国平均以上 小84.1% 中83.3%	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上
					実績値	小83.1% 中81.9%			
		職業講話等の登録事業者数（累計）	子どもたちへ職業講話・職業体験等を通して実社会の経験の機会を提供する市内企業数（累計）	商工振興課	目標値	5者	10者	15者	20者
	（4）学校・家庭・地域・関係機関が連携を図りながら、いじめの未然防止や早期発見を図るとともに、不登校の子どもへの支援に取り組みます。	いじめの解消率	・いじめの解消率（※）（いじめの解消件数／認知件数＝％。翌年度の6月に集計） （※）① いじめに係る行為が止んでいる状態が相当の期間（少なくとも3ヶ月）継続していること。 ② 被害児童生徒がいじめの行為により心身の苦痛を感じていないと認められること。両款等により確認。	人権政策課	目標値	100%	100%	100%	100%
					実績値	99%			
		不登校児童・生徒のうち、学校内外の施設等での相談・指導等が受けられていない児童・生徒の割合	不登校児童・生徒のうち、学校内外の施設等での相談・指導等が受けられていない児童・生徒の割合	児童生徒課	目標値	小学校：51.0% 中学校：44.0%	小学校：22.0% 中学校：25.0%	小学校：0% 中学校：0%	小学校：0% 中学校：0%
	（5）子どもたちの安全確保を図るため、学校・家庭・地域などが連携し、子どもが安全に安心して学べる環境づくりを進めます。	通学路における危険箇所の安全対策実施割合	学校から報告される通学路における危険箇所の安全対策の実施状況	新しい学校推進課	目標値	100%	100%	100%	100%
					実績値	100%			
	（6）安全で快適に学習できる環境を確保するため、老朽化した学校施設の更新や改修、学校規模等の適正化を図るなど、教育環境の向上を図ります。	学校エレベーターの整備率	全学校のうちエレベーターが設置されている学校の割合	施設計画課 教育政策課	目標値	16.0%	21.0%	27.0%	35.0%
					実績値	16.0%			
	（7）障害のある子どもたちの状況に応じた支援教育の充実を図り、「ともに学び、ともに育つ」教育の充実を図ります。	小中学校における通級指導教室設置学校数	通級指導教室の設置学校数	支援教育課	目標値	41校	50校	55校	63校
					実績値	41校			

基本目標 2 市民の健康増進や地域医療の充実を図る

主観的成果指標

	策定時の値 (R5)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
心身ともに健康に暮らせる環境が整っていると感じている市民の割合	51.5%	58.4%			
安心して適切な医療が受けられる環境が整っていると感じている市民の割合	59.8%	54.6%			
高齢者が地域でいきいきと暮らせる環境が整っていると感じている市民の割合	34.2%	38.8%			

重要業績評価指標(KPI)

施策目標	基本的方向	重要業績評価指標 (KPI)	指標の説明	担当課		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
1. 高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち	(1) 保健・医療・介護・福祉等の連携強化を図り、高齢者が継続して在宅生活ができる環境の整備をめざします。	地域ケア推進実務者連絡協議会の開催件数	地域ケア推進実務者連絡協議会、作業部会の開催件数	健康づくり課 健康福祉政策課	目標値 実績値	14件 13件	14件	14件	14件
	(2) 認知症の高齢者が尊厳を持ち、地域で安心して暮らせる環境づくりを進めます。	認知症サポーター養成講座の参加者数 (累計)	認知症に対する正しい知識と具体的な対応方法を学ぶ認知症サポーター養成講座の参加者数 (累計)	健康福祉政策課	目標値 実績値	29,200人 30,039人	30,400人	31,600人	32,800人
		「ひらかた脳活教室」の参加者実人数	「ひらかた脳活教室」の参加者実人数	健康づくり課	目標値 実績値	100人 91人	140人	140人	140人
					目標値 実績値	1,500件 3,593件	3,000件	4,500件	6,000件
		「自分でできる認知症の気づきチェックリスト」の利用件数	「自分でできる認知症の気づきチェックリスト」啓発の結果、チェックリストが行われた数	健康福祉政策課	目標値 実績値	1,500件 3,593件	3,000件	4,500件	6,000件
	(3) 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、生活支援サービスの充実を図ります。	介護保険給付に占める在宅サービスの割合	居宅サービス及び地域密着型サービス給付費合計／介護保険給付費	保険年金課	目標値 実績値	73.0% 71.9%	73.5%	73.7%	73.7%
	(4) 介護が必要となったときに質の高い介護サービスが受けられるよう、介護保険施設等の基盤整備を進めます。	介護保険施設等の施設数	特別養護老人ホームなど介護保険施設等の数	健康福祉政策課	目標値 実績値	102施設 102施設	105施設	108施設	108施設
	(5) 高齢者がいつまでも健康に生活できるよう、介護予防を推進します。	高齢者居場所など集いの場の参加率	活動実績を求める高齢者居場所と健康ステーション (街かどデイハウス事業) (仮) の延べ参加者数／高齢者人口	健康づくり課	目標値 実績値	8.0% 6.79%	8.0%	8.0%	8.0%
	(6) 高齢者が生きがいを持って生活できるよう、高齢者の技能・経験を生かせる活躍の場や若者との世代間交流の場の確保など社会参加を促進します。	ひらかた生き生きマイレージ (介護予防ポイント事業) による活動件数	ひらかた生き生きマイレージ事業において65歳以上の高齢者が介護保険施設等でサポーター活動を行う件数	健康づくり課	目標値 実績値	1,000件 1,296件	1,500件	2,250件	3,375件
2. 誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち	(1) 「健康医療都市ひらかたコンソーシアム」において、関係団体が連携しながら、多彩な連携事業の展開を通じて、市民の健康増進を図ります。また、誰もが日頃から健康づくりに取り組めるよう、健康増進に関する情報提供や相談体制の充実を図ります。	コンソーシアム連携事業への参加者数	健康・医療に関わる市内団体により構成される「健康医療都市ひらかたコンソーシアム」の連携事業への参加者数 (会議を除く研修会・講習会への参加者数)	健康福祉政策課	目標値 実績値	12,000人 15,865人	12,500人	12,500人	12,500人
		従業員健康づくりに取り組む企業数 (累計)	①企業への支援数 ②協会けんぽへの「健康宣言」を提出する市内企業数の増加 (累計) ③市内の健康経営優良法人認定数	健康づくり課	目標値 実績値	①3,600回 ②165企業 ③4,993回 ④129企業	①5,100回 ②195企業 ③5,200回 ④52企業	①5,200回 ②225企業 ③53企業	①5,300回 ②255企業 ③54企業
					目標値 実績値	25,000人 15,820人	25,000人	25,000人	25,000人
		健康づくりに関する教室・講演会への参加者数	ウォーキングなど健康づくりに関する教室・講演会への参加者数	健康づくり課	目標値 実績値	5.0% 65.3%	70.0%	75.0%	80.0%
		P H R の活用についての認知度	アンケートを実施し、質問「P H R の活用について知っている」と回答した人の割合	健康づくり課	目標値 実績値	9.200人 11,707人	11,800人	11,900人	12,000人
	(2) あらゆる世代の人が、いつでも気軽にスポーツなどの健康づくりに取り組むことができる環境づくりを進めます。	健康スポーツイベント等の参加者数	補助事業で実施された各事業の参加者数	スポーツ振興課	目標値 実績値	35.0% 35.0%	38.0%	41.0%	44.0%
	(3) 各種健 (検) 診の受診者を増やす取り組みなどを通じて、生活習慣病をはじめとする疾病の予防や早期発見を進めるとともに、食育や歯科口腔保健の推進を図ります。	特定健康診査受診率	高齢者の医療の確保に関する法律に定める特定健康診査の受診者／対象者 (国民健康保険に加入する40歳以上75歳未満の者)	健康づくり課	目標値 実績値	7.7% 6.6%	8.8%	9.9%	11.0%
		大腸がん検診受診率	市が実施する大腸がん検診の受診者／対象者 (40歳以上70歳未満の者)	健康づくり課	目標値 実績値	58.7% 59.0%	59.8%	60.8%	61.8%
		1日のうち2食以上、主食・主菜・副菜をそろえた食事をしている人の割合	スマホアンケートにおいて「朝食、昼食、夕食ごとに主食、主菜、副菜がそろっているか」について回答を得、「1日のうち2食以上、主食・主菜・副菜をそろえた食事をしている」と回答した人の割合	健康づくり課	目標値 実績値	77.1% 89.3%	90.4%	91.2%	92.0%
		かかりつけ歯科医を有する人の割合	スマホアンケートにおいて「かかりつけ歯科医がある」と回答した人の割合	健康づくり課	目標値 実績値	5,000件 4,963件	4,900件	4,800件	4,700件
		(4) こころの病気の早期発見や早期対応に向けた取り組みを進めます。	こころの健康相談の相談件数	保健医療課	目標値 実績値	95%以上 87.3%	95%以上	95%以上	95%以上
	(5) 難病に対する理解を深めるとともに、医療や介護、福祉の連携を図りながら、難病患者が地域で安心して暮らせる環境づくりを進めます。	「療養生活について相談できる人がいる・困っていない」と回答した人の割合	難病患者更新受付時アンケートにて「療養生活について相談できる人がいる・困っていない」と回答した人の割合	保健予防課	目標値 実績値				

重要業績評価指標(K P I)

施策目標	基本的方向	重要業績評価指標（KPI）	指標の説明	担当課		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
3. 健康危機管理が充実したまち	（１）感染症の予防や拡大防止対策を強化するとともに、食品関係施設や生活衛生関係施設における衛生水準を向上することなどにより、健康に関する危機管理体制の充実を図ります。	1歳までにＢＣＧ接種を終了している者の割合	結核を予防するＢＣＧワクチンを1歳までに接種した児の数／0歳の人口	保健予防課	目標値	95.0%	95.0%	95.0%	95.0%
					実績値	96.9%			
		収去検査における違反・不適件数	食品衛生及び生活衛生に関する立入・収去検査において違反・不適であった件数	保健衛生課	目標値	0件	0件	0件	0件
					実績値	2件			
4. 安心して適切な医療が受けられるまち	（１）「健康医療都市ひらかたコンソーシアム」において、関係団体が連携しながら、地域医療の充実を図ります。また、地域のかかりつけ医から高度な医療を提供できる公的病院までが連携し、住み慣れた地域で必要な医療が受けられる地域医療の充実を図るなど、市民の医療ニーズに適切に対応できる医療体制を構築します。	コンソーシアム連携事業への参加者数【再掲】	健康・医療に関わる市内団体により構成される「健康医療都市ひらかたコンソーシアム」の連携事業への参加者数（会議を除く研修会・講習会への参加者数）	健康福祉政策課	目標値	12,000人	12,500人	12,500人	12,500人
					実績値	15,865人			
	（２）初期救急医療から高度救急医療を含む各医療機関の連携強化により救急医療体制を確保するとともに、応急救護体制の充実を図ります。	北河内こども夜間救急センターから二次医療機関に後送した患者の入院率	北河内こども夜間救急センターから二次医療機関に後送し入院に至った患者数／後送された患者	健康福祉政策課	目標値	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%
					実績値	75.53%			
	（３）市立ひらかた病院は、地域の中核となる公立病院として、地域の医療機関と連携しながら、安全な医療の提供を進めます。	地域医療機関から市立病院への紹介件数	地域医療機関からの市立病院への患者の紹介件数	医事課	目標値	9,850件	9,900件	9,950件	10,000件
					実績値	9,688件			
	（４）外国人や聴覚障害者など誰もが安心して医療を受けることができる環境整備を進めます。	医療通訳士の利用件数	外国人住民等が市内対象医療機関を受診する際の医療通訳士の利用件数	健康福祉政策課	目標値	500件	500件	500件	500件
					実績値	388件			
		医療機関への手話通訳者の派遣件数	聴覚に障害のある方が医療機関を利用する際の手話通訳者の派遣件数	障害企画課	目標値	1,317件	1,412件	1,507件	1,602件
					実績値	799件			
	（５）高齢者などが住み慣れた地域で、医療・介護が一体的に受けられる体制づくりを進めます。	地域ケア推進実務者連絡協議会の開催件数【再掲】	地域ケア推進実務者連絡協議会、作業部会の開催件数	健康づくり課 健康福祉政策課	目標値	14件	14件	14件	14件
					実績値	13件			

基本目標 3 産業の活性化と人々の交流・賑わいの創出によりまちの魅力を高める
主観的成果指標

	策定時の値（R5）	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
市内での産業活動が活発に行われていると感じている市民の割合	20.2%	24.3%			
安全で快適な道路環境が整っていると感じている市民の割合	31.6%	36.2%			
公共交通機関が整っているなど都市機能が充実していると感じている市民の割合	52.1%	48.9%			
秋方市駅周辺が賑わい、魅力あふれる中心市街地であると感じている市民の割合	40.2%	59.2%			
市の観光資源が生かされ、人々の交流が盛んに行われていると感じている市民の割合	17.8%	30.3%			
生きがいを持って学び続けられる環境が整っていると感じている市民の割合	27.5%	35.7%			
文化芸術に親しめる環境が整っていると感じている市民の割合	41.0%	61.9%			
気軽にスポーツ活動ができる環境が整っていると感じている市民の割合	38.4%	41.9%			
里山や農地などの豊かな自然環境が保全されていると感じている市民の割合	24.4%	38.4%			

重要業績評価指標（KPI）

施策目標	基本的方向	重要業績評価指標（KPI）	指標の説明	担当課		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
1. 地域産業が活発に展開されるまち	（１）企業誘致を促進するほか、企業団地などを中心に製造業の集積を図るなど、市内産業の活性化を図ります。	地域産業基盤強化奨励金を受けて、新規立地及び設備投資した件数（累計）	地域産業基盤強化奨励金制度の認定を受けて、市内の産業集積地域において製造業事業者が新規立地や設備投資を行った件数（累計）	商工振興課	目標値	34 件	36 件	38 件	40 件
					実績値	34件			
		住工共生環境対策支援事業補助金の交付決定から３年間、操業を継続している市内の事業者の総数／住工共生環境対策支援事業補助金の交付決定を行った市内の事業者の総数	操業を継続している市内の事業者の総数／住工共生環境対策支援事業補助金の交付決定を行った市内の事業者の総数	商工振興課	目標値	100%	100%	100%	100%
					実績値	－			
	（２）中小企業の競争力強化のため、経営基盤の強化を図るとともに、産業技術や製品などを広く発信することで、市内産業の振興を図ります。	オープンファクトリーの参加事業者数（累計）	ものづくり企業の魅力を伝える機会をはじめ、まちの魅力発信や地域の活性化につながるオープンファクトリーに参加する事業者数（累計）	商工振興課	目標値	15 者	18 者	21 者	24 者
					実績値	17者			
	（３）創業を希望する個人等が市内で独立創業できる環境づくりの充実を図ります。	地域活性化支援センターにおける創業支援を受けて創業した件数	地域活性化支援センターにおける創業支援を受けて実際に創業した件数	商工振興課	目標値	29 件	30 件	31 件	32 件
					実績値	38件			
		地域活性化支援センターにおける経営相談の件数	地域活性化支援センターにおける経営相談の件数	商工振興課	目標値	360 件	365 件	370 件	375 件
					実績値	446件			
	（４）市内の企業や個人等が特徴ある地域資源などを活用した新たな事業展開に取り組める環境づくりを進めます。	ふるさと納税を活用したクラウドファンディングにより、市内事業者の商品開発を新たに支援した件数	ふるさと納税を活用したクラウドファンディングにより、市内事業者の商品開発を新たに支援した件数	商工振興課	目標値	0 件	0 件	3 件	3 件
					実績値	－			
	（５）身近な地域で買い物ができる利便性の向上や、地域活力の向上を図るため、主体的に取り組む商店街の活性化を図ります。	市内の各商店街、ひいては地域産業の活性化を目指す補助対象団体数（累計）	市内の各商店街、ひいては地域産業の活性化を目指す補助対象団体数（累計）	商工振興課	目標値	13 団体	14 団体	15 団体	16 団体
					実績値	13団体			
2. いきいきと働くことのできるまち	（１）就職困難者に対する就労支援をはじめ、地域の実情に応じた新たな雇用機会の創出など、雇用対策の充実に取り組みます。	地域就労支援センター相談者等のうち就労に結びついた人数	地域就労支援センター相談者等のうち就労に結びついた人数	商工振興課	目標値	65 人	67 人	69 人	71 人
					実績値	58人			
		就労支援対象者（生活保護受給者・生活困窮者）のうち就労に結びついた人数	生活保護受給者及び生活困窮者のうち就労支援事業及び「就労支援ひらかた（ハローワークコーナー）」において実際に就労に結びついた人数	健康福祉総合相談課、生活福祉課	目標値	190 人	200 人	210 人	220 人
					実績値	185人			
		就労決定した者のうち、就労定着３カ月以上した人数、及び就労自立し保護廃止となった人数	就労決定した者のうち、就労定着３カ月以上した人数、及び就労自立し保護廃止となった人数	生活福祉課	目標値	60 人	65 人	70 人	75 人
					実績値	70人			
3. 安全で快適な交通環境が整うまち	（１）交通渋滞の緩和や安全な交通環境を確保するため、市内の幹線道路の整備や京阪本線連続立体交差事業を進めるとともに、生活道路の改善を図ります。	国道１号における旅行速度	枚方市内の国道１号の主要渋滞箇所における平均旅行速度（主要渋滞箇所５か所の旅行速度の平均値）	土木政策課	目標値	17.7km/h以上	17.7km/h以上	17.7km/h以上	17.7km/h以上
					実績値	17.6km/h			
		連続立体交差事業用地取得率	連続立体交差事業に必要な事業用地の取得率（取得面積／総取得面積）	連続立体交差課	目標値	99%	100%	－	－
					実績値	99%			
	（２）交通渋滞の緩和や都市間交流の活性化、防災面での広域連携を図るため、広域的な幹線道路等の整備に向けて取り組みます。	国道１号における旅行速度【再掲】	枚方市内の国道１号の主要渋滞箇所における平均旅行速度（主要渋滞箇所５か所の旅行速度の平均値）	土木政策課	目標値	17.7km/h以上	17.7km/h以上	17.7km/h以上	17.7km/h以上
					実績値	17.6km/h			
		交通事故件数（歩行者・自転車）	市内で発生した自転車や歩行者が関わる交通事故件数	交通対策課	目標値	430 件	420 件	410 件	400 件
						実績値	409件		
	（３）日常生活において安全に歩行できるよう、快適な歩行空間の整備に取り組むとともに、交通事故の防止を図るため、自転車や歩行者の交通安全意識の向上を図ります。	交通安全に関する啓発イベント・教室講習等の参加者数	自転車や歩行者などの交通安全に関する啓発イベント・教室講習等の参加者数	交通対策課	目標値	10,000 人	13,000 人	13,000 人	13,000 人
					実績値	13,175人			

重要業績評価指標(KPI)

施策目標	基本的方向	重要業績評価指標 (KPI)	指標の説明	担当課		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
4. 快適で暮らしやすい環境を備えたまち	(1) 市民生活の利便性向上や環境負荷の低減などを図るため、効率的で利便性が高く、持続可能な公共交通環境の整備を図るとともに、公共交通機関の利用を促進します。	公共交通利用促進啓発イベントの参加者数	鉄道やバスなど公共交通の利用を促進する啓発イベントの参加者数	交通対策課	目標値	6,500 人	7,000 人	7,100 人	7,200 人
		地域支援・自主運行型コミュニティ交通システムモデル事業の実施組織数または交通に関心を持った組織数	公共交通不便地域等において、地域支援・自主運行型コミュニティ交通システムモデル事業の支援を受けた組織数または、勉強会の開催など、関心をもった組織数	土木政策課	目標値	3団体	4団体	5団体	5団体
		—	—	—	実績値	4団体			
					目標値	—	—	—	—
	(2) 利便性の高い都市環境をめざし、医療施設や福祉施設、商業施設などの都市機能の集約を図る拠点を適正に配置し、計画的な都市づくりを進めます。	特定空家等及び特定空き地等の改善率	周囲への危険性が高いと市が判断して「特定空家等」及び「特定空き地等」と認めた物件のうち、危険が取り除かれ指定の解除に至った数／「特定空家等」及び「特定空き地等」と認めた物件の数	住宅まちづくり課	目標値	100%	100%	100%	100%
					実績値	0%			
		市内の空き家が不動産流通等により解消された件数	若者世代空き家活用補助制度等の活用により空き家が解消された執行件数	住宅まちづくり課	目標値	30 件	30 件	30 件	30 件
					実績値	21件			
5. 人々が集い賑わい、魅力あふれる中心市街地のあるまち	(1) 利便性が高く、魅力あふれる中心市街地の形成に向けて、商業、文化芸術、居住施設をはじめ、緑化等による景観など、交通結節点におけるさまざまな機能を充実できるよう、枚方市駅周辺の再整備を進めます。	枚方市駅市民窓口センターにおける転入・転居（1件）に係るすべての手続きに要した時間	枚方市駅市民窓口センターにおける転入・転居（1件）に係るすべての手続きに要した時間	市民生活政策課	目標値	60 分	45 分	45 分	45 分
					実績値	51分			
	(2) 枚方市駅周辺が、人々が集い交流し、さまざまな活動が活発に展開される拠点となるよう、各種イベントの開催など賑わいづくりを創出します。	にぎわい空間創出事業来場者数	ニッペパーク開業中央等において、市民団体などが開催する各種イベントが効果的に行われるように、会場及び備品の貸し出し、広報などの支援を行う「にぎわい空間創出事業」における来場者数	観光交流課	目標値	12,824 人	14,106 人	15,517 人	17,068 人
					実績値	50,670人			
6. 地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち	(1) 本市が有する歴史・文化などの貴重な観光資源を効果的に発信するとともに、幅広い世代の人々にとっての憩いの場や学びの場を確保することで、人々の交流機会の創出を図ります。	新たな観光情報発信拠点利用者数	デジタルサイネージ等を活用した令和6 年前期にオープンする新たな枚方市観光案内所「Syuku56」の利用者数	観光交流課	目標値	30,000 人	72,000 人	73,000 人	74,000 人
		観光消費推計額	観光消費単価×一週間あたり平均潜在者数	観光交流課	実績値	67,267人			
					目標値	602,862千円	678,080千円	753,297千円	828,515千円
					実績値	533,784千円			
	(2) 学生の活力を生かしたまちづくりを進めるため、教育などさまざまな分野で、学生のまちづくりへの参画を図ります。	民間活力を活用したプロジェクトの実施数（累計）	「癒しの郷永室・津田～health プロジェクト」の実施数	農業振興課	目標値	5件	6件	7件	8件
					実績値	5件			
		市と大学との連携事業に参加した学生数	イベントの開催など市と市内大学との連携事業に参加した学生数	政策推進課	目標値	1,800 人	1,900 人	2,000 人	2,100 人
					実績値	1,493人			
	(3) 歴史文化遺産を活用したまちづくりを推進し、情報発信を充実することにより、まちへの愛着を育みます。	特別史跡百濟寺跡と楠葉台場跡が内外に誇れる観光資源であると思う市民の割合	特別史跡百濟寺跡と楠葉台場跡が内外に誇れる観光資源であると思う市民の割合	文化財課	目標値	50.0%	52.0%	54.0%	56.0%
					実績値	43.4%			
7. 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち	(1) あらゆる世代の人が身近なところで学ぶことができる機会の創出を図り、その成果を地域で生かし、市民同士等がつながりを育める環境づくりを進めます。	総合文化芸術センター及び生涯学習市民センターにおけるWi-Fi 接続数デジタルサイネージ利用数	Wi-Fi 及びデジタルサイネージを設置した総合文化芸術センターや生涯学習市民センターにおけるWi-Fi 接続数デジタルサイネージを設置した施設におけるタッチ数	文化生涯学習課	目標値	14,000 回 28,000 回	140,000 回 130,000 回	145,000 回 135,000 回	150,000 回 140,000 回
					実績値	136,005 回 126,399 回			
	(2) 市民が利用しやすい魅力ある図書館運営と知の源泉となる図書館機能の充実を図り、豊かな心を育む市民の生涯学習を支援します。	図書館サービスに係る利用満足度	窓口アンケート調査による全館平均満足度（蔵書構成・電子図書館・その他図書館サービスについての7 項目における「満足」「やや満足」の回答割合）	中央図書館	目標値	80.0%	83.0%	86.0%	89.0%
					実績値	79.0%			
	(3) まちの価値を高め、集客と賑わいを創出する総合文化芸術センターにおいて、優れた文化芸術にふれる機会を提供するとともに、多くの市民が文化芸術活動を行うことのできる環境づくりを進めます。	図書館貸出冊数（個人・団体）	図書館全館の年間個人・団体貸出冊数	中央図書館	目標値	3,900,000冊	4,400,000冊	5,000,000冊	5,200,000冊
					実績値	4,168,650冊			
		総合文化芸術センターの主要な施設の来館者見込	総合文化芸術センターの大ホール・小ホール・イベントホール・美術ギャラリーの年間来館者数	文化生涯学習課	目標値	331,000人	331,000人	331,000人	331,000人
					実績値	272,597人			
		生涯学習市民センター利用件数	生涯学習市民センター（9 施設）の利用件数	文化生涯学習課	目標値	66,000 件	66,500 件	67,000 件	67,500 件
					実績値	65,509件			
	(5) 誰もが気軽にスポーツに親しみ、年齢や興味または関心に応じたスポーツ・レクリエーション活動ができる環境づくりを進めます。	トップスポーツチームとの連携事業の回数	ホームタウンチームをはじめとしたトップスポーツチームと連携した事業の回数	スポーツ振興課	目標値	20 回	22 回	24 回	26 回
					実績値	21回			
		e スポーツイベント参加者のうち満足した人の割合	e スポーツイベント参加者へのアンケート調査により測定した満足度（満足と回答した件数/総回答件数）	スポーツ振興課	目標値	85.0%	95.0%	95.0%	95.0%
					実績値	93.3%			
8. 豊かな自然環境を大切にするまち	(1) 里山などの豊かな自然空間を保全・継承していくため、自然と親しみ、自然の大切さを発信するとともに、森林ボランティア育成などに取り組みます。	里山保全活動団体の活動日数（累計）	東部地域で活動する里山保全活動団体の年間活動日数（累計）	農業振興課	目標値	4,600 日	4,800 日	5,000 日	5,200 日
					実績値	4,736日			
		森林ボランティア育成講座修了者数（累計）	森林ボランティア育成講座の受講者のうち規定の日数に出席し修了証を取得した人数（累計）	農業振興課	目標値	430 人	450 人	470 人	490 人
					実績値	416人			